

令和4年6月22日

市政記者 各位

「令和4年度福岡市主要施策概要」の作成について

この度、令和4年度に本市が取り組む主要な施策・事業等を掲載したパンフレットを作成しましたので、お知らせいたします。

記

1 配布・閲覧時期

令和4年6月22日から

2 配布・閲覧場所

市役所1階情報プラザ、各区（各出張所）情報コーナー

※本市ホームページにも掲載します。

URL : <https://www.city.fukuoka.lg.jp/soki/kikaku/shisei/sesakugaiyou.html>

【問合せ先】

〒810-8620

福岡市中央区天神1丁目8番1号

福岡市総務企画局企画調整部

担当：尾上・福島

TEL (092)711-4086 (直)

FAX (092)733-5582

E-mail kikaku.GAPB@city.fukuoka.lg.jp

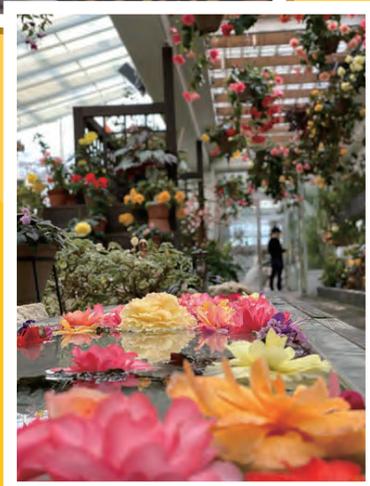
令和4年度
福岡市 主要施策概要



PROJECT OF FUKUOKA

FaN

Fukuoka Art Next



 **福岡市**
FUKUOKA CITY

■令和4年度の施策推進にあたって

福岡市では、多くの市民の皆様とともに策定した「福岡市総合計画」において、「生活の質の向上」と「都市の成長」の好循環を創り出すことを都市経営の基本戦略として掲げ、「人と環境と都市活力の調和がとれたアジアのリーダー都市」をめざして、まちづくりを進めています。

すべての人にやさしく、「ぬくもり」のある社会を目指すとともに、天神ビッグバンや博多コネクティッドにより、まちが大きく生まれ変わっていく中で、みどりや文化芸術、歴史などが持つ魅力にさらに磨きをかけ、まちに「彩り」を加え、多様な豊かさを感じられる、市民一人ひとりの Well-being^{*}を大事にするまちづくりを進めていきます。

令和4年度においては、

- ①次代を担う子ども、グローバル人材の育成
- ②見守り、支え合う、共創の地域づくり
- ③都市活力を生み出す観光・MICE、都心部機能強化の推進
- ④新しい価値の創造にチャレンジするスタートアップ都市づくり

という、総合計画に沿った4つの分野とともに、⑤**アートを活かしたまちづくり**に力を入れてまいります。

※ Well-being（ウェルビーイング）とは

身体的・精神的・社会的に良好な状態にあることを意味する概念で、人々の満足度や充実、幸せなどを表すものです。

● FUKUOKA NEXT



「FUKUOKA NEXT」は、この元気で住みやすいまちをさらに発展させ、将来に引き継いでいくために、福岡市を次のステージへと飛躍させる、様々なチャレンジの総称です。この取組みを果敢に進めることで、「人と環境と都市活力の調和がとれたアジアのリーダー都市」の実現を目指します。

● WITH THE KYUSHU



～九州とともに、福岡市は新たなステージへ～

福岡市は、九州との深い関わりに支えられ、九州とともに成長してきたまちです。まさに福岡市の発展は、九州とともにあります。

九州の拠点都市としての役割をあらためて認識し、WITH THE KYUSHUとして、九州各地の自治体と連携し、九州の発展につなげていくことを目指して様々な取組みを推進します。

1

次代を担う子ども、グローバル人材の育成



多様な保育需要への対応や児童虐待防止対策など、安心して子どもを生み育て、すべての子どもが心身ともに健やかに成長できるとともに、女性がその能力を十分に発揮し活躍できる環境づくりを進めます。また、さまざまな体験・活動などを通じて、社会性や公共心を持ち、心豊かでたくましい、国際性豊かな子どもの育成を図るとともに、大学や専門学校等の集積を活かしながら、グローバル人材の育成・定着を図ります。

子ども習い事応援事業

子どもの将来が生まれ育った環境に左右されないよう、生活保護世帯、児童扶養手当受給世帯の小学5年生～中学3年生の習い事の費用を助成します。(子ども1人あたり月額上限1万円)

予算 297,122 千円

児童虐待防止のための相談支援の充実

児童虐待の未然防止や早期発見のため、児童生徒1人1台端末を活用した相談支援や、児童相談所における全国一元的なSNS相談を実施します。

予算 72,216 千円

ヤングケアラー相談支援事業

ヤングケアラーへの支援のため、コーディネーターによる相談支援のほか、育児支援ヘルパーの派遣、関係機関等への研修などを実施します。

予算 35,197 千円

子どもの権利サポート事業

一時保護所や里親、児童養護施設などで保護・養育されている子どもに、専門的な第三者が寄り添って意見表明を支援し、子どもの権利擁護を推進します。

予算 10,000 千円

南部療育環境整備事業

南部療育センター(仮称)の基本設計・実施設計等を実施します。

予算 54,876 千円

ひとり親家庭自立支援給付金事業

ひとり親家庭の親が能力開発や就職に結びつきやすい看護師等の高度な資格を取得するため、修業している場合に、支払った受講料の一部や生活費を支給します。

予算 195,210 千円

ひとり親家庭向け情報ナビ事業

支援を必要としているひとり親家庭に適切に情報を届けることができるよう、各機関の支援施策に係る情報を横断的に検索できる機能を備えたポータルサイトを新たに作成し、情報発信を強化します。

予算 16,150 千円

乳幼児健診情報のデジタル化

保護者がスマートフォンなどで問診項目の入力や受診結果の閲覧が可能になるとともに、医療機関と市で受診結果の即時共有を図ることができるシステムを構築します。

予算 24,960 千円

若者の相談支援体制強化

ひきこもりや非行など困難な状況にある若者や家族を支援するため、若者支援地域協議会及び若者総合相談センターを設置し、民間支援団体を含めて連携を強化します。

予算 41,431 千円

インクルーシブな遊具広場整備事業

障がいの有無などに関わらず、あらゆる子どもたちが一緒に遊べるインクルーシブな遊具広場の整備に向け、実証実験を行うとともに、検討委員会を開催します。

予算 23,275 千円

ICTを活用した教育実践事例創出事業

児童生徒の学びの質の向上のため、モデル校でICTを活用した教育実践事例を創出し、全小中学校へ展開します。

予算 4,780 千円

オンライン環境支援事業

学習者用デジタル教科書の整備や、インターネット環境がない家庭へモバイルルータの貸し出しを行うなど、ICTを活用した学びの充実を図ります。

予算 156,625 千円

教育ビッグデータ活用調査検討経費

これからの新たな学びを実現する手段の一つとして、子どもたちの学力や健康状態など、様々な教育データの効果的な活用に向けた調査や分析方法の検討を行います。

予算 30,556千円

聴覚障がいのある児童生徒への補助装置の導入

補聴器を装着している難聴の児童生徒が在籍する小中学校へ、聴こえを補う補助装置を導入することで、マスクを着用していても、聴きとりやすい環境の実現を図ります。

予算 7,830千円

特別支援学級整備

対象となる児童生徒の増加に対応するため、特別支援学級の新設・増級を行うほか、常時車いすを使用する児童生徒が在籍する小中学校にエレベーター設置の設計を行います。

予算 76,323千円

スクールソーシャルワーカー活用事業

教育と福祉の両面から課題を抱える児童生徒の支援を行うため、全市立学校に配置しているスクールソーシャルワーカーを増員します。

予算 311,057千円

公立夜間中学の運営

様々な事情で義務教育を十分に受けることができなかった方々に、就学の機会を提供するため、公立夜間中学「福岡きぼう中学校」を開校・運営します。

予算 11,059千円

2 見守り、支え合う、共創の地域づくり



住みなれた地域で誰もが安心して暮らしていくことができるよう、見守り、支え合う持続可能な仕組みづくりに取り組むとともに、地域の絆づくりや新たな担い手づくりをはじめ、さまざまな主体が共に地域の未来を創り出す取組みを推進します。また、それぞれのライフステージに応じた健康づくりや生活習慣の改善の支援に取り組み、社会全体で健康寿命の延伸を推進し、誰もが健康で生きがいを持ちながら地域社会で活躍できる生涯現役社会の実現を目指します。

「福岡100」の推進～人生100年時代に向けて～



人生100年時代に向けて、誰もが心身ともに健康で自分らしく暮らせる持続可能なまちを目指すプロジェクトです。市民の皆さんはもちろんのこと、企業や大学などの知恵や工夫を取り入れ、「オール福岡」で推進しています。

Fitness City プロジェクト

「住むだけで健康になるまちづくり」に向け、公園や道路、駅などの身近な環境を活用し、自然と楽しく体を動かしたくなる、仕組みや仕掛けづくりに取り組みます。

予算 99,765千円

STOP! フレイルプロジェクト「フレイル予防ハイリスク者支援事業」

コロナ禍において自粛生活が常態化する中、心身の機能が低下する「フレイル」を予防するため、ハイリスク状態にある高齢者を専門職が訪問し、必要な支援へ橋渡しを行います。

予算 18,108千円

STOP! フレイルプロジェクト「要介護状態改善等評価事業」

要介護度やADL等の改善・維持に取り組むチーム（介護サービス事業所、利用者）を評価し、その取り組みに対してインセンティブを付与します。

予算 8,692千円

アピアランスケア推進事業

がん患者やがん経験者の社会参加を促進し、療養生活の質の向上を図るため、医療用ウィッグ等や補整具等の購入費を助成します。

予算 8,800千円

障がい者の工賃向上に向けた一体的な支援

障がい者の工賃向上を図るため、企業への業務開拓や障がい者施設への受注支援等を行うセンターを新たに設置します。

予算 36,004千円

重度障がい者グループホーム受入促進事業

強度行動障がいがある障がい者の受け入れを促進するため、重度障がい者を受け入れる障がい者グループホームへの人件費相当額の補助について、対象を拡大します。

予算 44,640千円

タブレット活用による障がい者サービス向上

視覚・聴覚障がい者向けに開発されたアプリケーションを活用し、スムーズな窓口対応を可能にします。手話を利用する聴覚障がい者がビデオ通話により、手話で区役所に問い合わせができるようにします。

予算 **6,603** 千円

成年後見制度利用支援事業

認知症、知的障がいなどにより判断能力が十分でない人の権利を守るため、後見人報酬の助成対象を、新たに本人・親族からの申立てにも拡大し、成年後見制度の利用を支援します。

予算 **23,906** 千円

発達障がい者支援等施設整備事業

発達障がい者支援センターと障がい者就労支援センターを集約した一体的な施設を整備し、相談・支援等を拡充します。あわせて、中央障がい者フレンドホームを整備します。



完成イメージ

予算 **770,490** 千円

福祉避難所運営体制強化事業

災害時に高齢者や障がい者が安心して避難できるよう、福祉避難所の開設が見込まれる施設等に対して、特に配慮を要する人の避難生活に必要な物資を交付します。

予算 **15,512** 千円

町内会活動支援事業

自治会・町内会が行う地域の活性化や課題解決につながる幅広い活動のための経費を助成します。

予算 **41,034** 千円

在住外国人の生活環境整備事業

転入手続き時の生活ガイダンスの実施や、区役所等における多言語対応の充実のほか、日本語教育の推進を図るとともに、地域における外国人住民との交流を支援し、相互理解を促進します。

予算 **38,823** 千円

一人一花運動の充実

植物園において、花・みどりづくり活動の拠点としての機能を強化するなど、まちに彩りと潤いを与え、人のつながりや心の豊かさを生み出す「一人一花運動」の輪を広げ、花による共創のまちづくりを進めます。



啓発拠点施設（ポタニカルライフスクエア）のイメージ



予算 **92,939** 千円

3

都市活力を生み出す観光・MICE、都心部機能強化の推進



新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、交流人口の段階的な増加に向けた取組みを進めるとともに、九州のゲートウェイ都市として再び多くの観光客等に訪れていただけるよう受入環境の充実を図るなど、都市活力を生み出す観光・MICEを振興します。また、規制緩和による誘導や支援により、民間活力を引き出しながら、ウィズコロナ、ポストコロナに対応した都心部の機能や魅力の向上、拠点間のアクセシビリティや回遊性の強化に取り組みなど、国際競争力のある都市づくりを進めます。

ポストコロナに向けた MICE 開催支援の充実



ハイブリッド開催の様子

MICEのハイブリッド開催や感染症対策、SDGsの達成に貢献する取組みを支援するとともに、大規模見本市等の誘致に取組み、地域経済の活性化につなげます。

予算 **79,000** 千円

修学旅行・バスツアー等による周遊観光の推進

都市圏の自治体等と連携し、福岡市内に宿泊する修学旅行やバスツアーの受入れ等に取り組み、都市圏を含む周遊観光を推進します。

予算 **78,358** 千円

サステナブルツーリズム推進事業

CO₂排出量の抑制や環境保全に資する旅行商品のモデル構築等に取り組み、サステナブルツーリズムを推進します。

予算 **6,199** 千円

世界水泳選手権福岡大会等の開催準備

2023年の「世界水泳選手権福岡大会」及び熊本市、鹿児島市と3都市で開催する「世界マスターズ水泳選手権九州大会」の開催準備を進めるとともに、国内外への大会PRを実施します。



予算 **1,977,367** 千円

市街化調整区域の活性化 ～Work Hard, Play More Hard～

誰もが生き生きと働きながら、豊かな自然を満喫するという“Work Hard, Play More Hard”をコンセプトとして、観光業や農林水産業などの地域産業の振興など地域と一体となって活性化に取り組みます。

農山漁村地域など市街化調整区域の活性化

地域主体の取組みを支援するとともに、活性化の新たな担い手となる民間事業者の誘致や未利用地の活用など、地域産業の振興に繋がるビジネスの創出に向けた取組みを推進します。

予算 **7,400** 千円

Fukuoka East&West Coast プロジェクト

海辺を活かした観光振興事業



海辺の観光周遊コースの形成に向けて、サイクルツーリズムの促進や滞在型プランの拡充、回遊を促進する立ち寄りスポットづくりの検討などに取り組みます。

予算 **63,821** 千円

海辺を活かした観光振興に向けた道づくり

美しい海辺空間としての魅力を最大限高めるため、豊かな自然環境と調和した道路整備に取り組みます。

予算 **450,750** 千円

北崎地区の道路整備状況



志賀島地区の道路整備イメージ



海づり公園を活用した北崎地区活性化事業

北崎地区の海辺の魅力を高め、地域の活性化や観光振興の拠点施設となるよう、海づり公園のリニューアルの実施設計を行います。

予算 **32,839** 千円

天神ビッグバン

天神未来創造



航空法高さ制限の特例承認や市独自の規制緩和などにより、耐震性が高く、感染症にも対応した先進的なビルへの建替えを促進し、より国際競争力が高く、安全安心で、環境にも配慮した魅力的なまちづくりに取り組みます。



天神通線整備

天神地区の交通混雑の緩和や来街者の回遊性向上などを図るため、天神1丁目北ブロックのまちづくりと一体となって都市計画道路天神通線の整備に取り組みます。



整備イメージ

予算 **293,300** 千円

天神ビッグバンの奥座敷（西中洲）～情緒ある路地空間の創出～

天神ビッグバンの奥座敷（西中洲）の魅力づくりに向け、石畳による道路整備と景観誘導により、情緒ある路地空間の創出に取り組みます。

予算 **58,721** 千円

博多コネクティッド



博多駅筑紫口駅前広場の再整備など交通基盤の拡充とあわせ、規制緩和などにより、耐震性が高く、環境面や、感染症にも対応した先進的なビルへの建替えを促進し、駅周辺地区との回遊性や都市機能の向上を図り、官民連携により博多駅の活力を周辺につなげていきます。



はかた駅前通りの再整備

整備イメージ（祇園町西文差点付近）



自転車通行空間の確保や、ゆとりある快適で魅力あふれる歩行空間を創出するため、はかた駅前通りの再整備に取り組みます。

予算 **723,380** 千円

都心部交通対策の推進

マイカーから公共交通への転換や自動車交通の削減・抑制を図るため、交通マネジメント施策などの都心部交通対策を推進します。

予算 **9,862** 千円

Fukuoka Smart East

九州大学箱崎キャンパス跡地のまちづくり



九州大学箱崎キャンパス跡地等において、地域と共に創り上げたグランドデザインに基づき、良好な市街地の形成と新たな都市機能の導入に向け、九州大学等と連携しながら、早期の土地利用を図ります。

予算 **1,065,831** 千円

4

新しい価値の創造にチャレンジする スタートアップ都市づくり



新たに事業を始める創業や既存企業が新しく事業を生み出す第二創業は、多くの雇用と新たな価値を創り出し、福岡市を支店経済から脱却させるとともに、新しい商品やサービスを生み出し、市民生活を豊かにします。国家戦略特区を推進エンジンとして、福岡市の活力をさらに高めるスタートアップ都市づくりに取り組みます。

スタートアップ支援施設事業

スタートアップ企業の更なる成長や既存中小企業の第二創業を促進するため、「Fukuoka Growth Next」を運営するとともに、1階部分に貫通通路を整備します。



fgn.
FUKUOKA GROWTH NEXT

予算 **194,584** 千円

外部人材による IPO(新規上場)成長支援プログラム

新規上場を目指すスタートアップ企業の経営に関する現状分析・課題抽出を行い、その解決に向けた経験豊富なプロ人材の活用を支援します。

予算 **11,308** 千円

エンジニアフレンドリーシティ福岡の推進

先端技術やビジネス等の知見に長けたスタッフを、エンジニアカフェに新たに配置し、サービス設計等を支援することで、エンジニアによる新サービス・新製品の創出を促進します。



予算 **92,120** 千円

グローバルスタートアップ推進事業

海外スタートアップ拠点との連携を活かしたビジネスマッチング支援や、オンラインを活用した国際イベントの開催などにより、グローバルに活躍できる創業の環境づくりを進めます。

STARTUP FUKUOKA CITY

予算 96,548千円

5 アートを活かしたまちづくり



Fukuoka Art Next

アートのある暮らしの推進、アートウィークの開催

「おうちにアートを、職場にアートを、街にアートを！」をコンセプトとした啓発を行うとともに、街中が現代アートで賑わう「アートウィーク」を実施します。

FaN

Fukuoka Art Next

予算 40,518千円

アートフェアアジア福岡の官民共同開催

アートフェアアジア福岡について、官民共同で開催することで国際信用力を高めるとともに、保税地域を活用するなど、新たな海外の有名ギャラリーの出展促進を図ります。

予算 4,000千円

アーティストカフェの開設・運営

アーティストの成長・交流拠点として、旧舞鶴中学校南校舎1階を活用し、制作スタジオや交流スペース等を設置します。アーティストの創造活動とスタートアップを支援します。



予算 48,480千円

レジデンス事業の拡充

国内外のアーティストを公募し、アーティストカフェでの創作活動や、市民との様々な美術交流活動を支援することで、福岡から世界に羽ばたく人材の育成を目指します。



予算 23,016千円

福岡アートアワード

福岡市内で優れた作品の制作・発表を行ったアーティストの中から、若手を中心に賞を授与し、作品を買い上げて市美術館で収蔵、展示します。

予算 10,000千円

アート発信拠点アートカフェの検討

市民が都心で気軽にアートを楽しむことができ、展覧会や市内ギャラリーなどの情報も得ることができるアートの発信拠点の設置を検討します。

予算 8,800千円

Fukuoka Wall Art Project

仮囲い等を活用した発表の場と作品を展示・販売する機会を提供し、アートによるまちの賑わい創出を図ります。



予算 13,198千円

「生活の質の向上」と「都市の成長」の好循環

福岡市では、多くの市民の皆様とともに策定した「福岡市総合計画」において、「生活の質の向上」と「都市の成長」の好循環を創り出すことを都市経営の基本戦略として掲げています。

福岡市の「住みやすさ」に磨きをかけて市民生活の質を高め、質の高い生活が人と経済活動を呼び込み、都市の成長を実現させ、都市の活力によりさらに生活の質が高まるという好循環を創っていきます。

生活の質の向上

1 一人ひとりが心豊かに暮らし、 元気に輝くまちづくり



1 ユニバーサルデザインの理念に よるまちづくり

ユニバーサル都市・福岡の推進



ユニバーサル都市・福岡の実現をめざし、市民や企業等の自発的な行動につながるよう、ユニバーサルデザインの普及・啓発に取り組みます。

予算 **9,083** 千円

ベンチプロジェクトの推進

インクルーシブな社会環境の実現に向けて、ベンチの規格を据置きに見直すことによるコスト削減を図りながら、市管理道路で設置可能なすべてのバス停にベンチを設置します。



予算 **69,325** 千円

2 すべての人の人権が尊重される まちづくり

人権教育・啓発の推進

すべての人の人権が尊重される社会の実現に向け、あらゆる人権問題の解決を図るため、人権教育・啓発に取り組みます。

予算 **89,025** 千円

性的マイノリティ支援事業

パートナーシップ宣誓制度の自治体間連携の推進など当事者等への支援に取り組むとともに、課題解決に取り組む企業への顕彰制度の導入など継続的な啓発を実施します。

予算 **5,733** 千円

3 スポーツ・レクリエーションの 振興

福岡マラソン開催



福岡マラソンを3年ぶりに開催します。「人をつなぐ。まちをつなぐ。未来をつなぐ。」を大会テーマに、1万2千人のランナーが福岡から糸島へ駆け抜けます。

予算 **121,015** 千円

4 すべての人が安心して暮らせる 福祉の充実

認知症施策推進事業



認知症になっても住み慣れた地域で安心して自分らしく暮らせるまちを目指し、認知症コミュニケーション・ケア技法ユマニチュード®の普及や、認知症の人にもやさしいデザインの導入促進に取り組みます。

認知症の人にもやさしいデザインの手引き

予算 **22,778** 千円

福祉人材確保事業

介護人材の確保を図るため、訪問介護事業所の人材確保支援や介護ロボットのトライアル貸出、ICT導入による事務効率化の支援等を実施します。

予算 **30,461** 千円

5 子どもが健やかに育ち、安心して 生み育てられる社会づくり

妊婦健診

妊婦の健やかな出産のため、初回健診において超音波検査の費用助成を開始するほか、多胎妊婦に対する健診費用の助成回数を拡充します。

予算 **1,454,145** 千円

産後サポート事業

産後早期の母親に対し、授乳・沐浴のアドバイス等を行う産後ケア事業や、産後ヘルパー派遣事業を実施します。令和4年度は、産後ケア事業について、施設での宿泊や日帰りでの実施に加え、訪問型での実施を拡充します。

予算 **38,533**千円

2 さまざまな支えあいとつながりのあるまちづくり



6 公民館などを活用した活動の場づくり

地域の担い手パワーアップ事業

公民館による地域活動の担い手育成や公民館のWi-Fiを活用した地域のデジタル化支援などに取り組みます。

予算 **10,220**千円

市民センター等 Wi-Fi 環境整備事業

施設利用者の利便性の向上を図るため、市民センター及び地域交流センターにWi-Fi環境を整備します。

予算 **22,357**千円

南市民センター改修

老朽化への対応や施設の魅力向上を図るため、改修工事を行うとともに、音楽・演劇練習場や子どもプラザとの複合施設として整備します。(令和4年8月リニューアルオープン予定)



南市民センター改修完成イメージ

予算 **575,706**千円

3 安全・安心で良好な生活環境のまちづくり



7 災害に強いまちづくり

災害対策本部機能の充実・強化

新たに整備した災害対策本部室を活用し、関係機関との連携による訓練・研修を実施するなど、職員の災害・危機対応能力の向上を図ります。

予算 **3,784**千円

災害時の電力確保

公民館等へ電気自動車等から電力を供給するための設備の導入や、本庁舎及び区役所の停電対策等を行います。

予算 **417,869**千円

避難支援対策の充実

自治会・町内会を対象とした防災講座等により自主防災活動を促進するほか、避難行動要支援者ごとの個別避難計画作成を推進するための福祉事業者等を含めた体制づくりや、ワークショップを実施します。

予算 **30,921**千円

無電柱化の推進

災害時の電柱倒壊による通行の妨げをなくし、空が見える美しい街並みの形成や、歩きやすい道路空間を確保するため、電線類を地中に埋める「無電柱化」を進めます。

予算 **1,456,781**千円

中央区における消防署所の再編整備



新平尾出張所(イメージ)

都心部における災害即応体制の強化及び増加が見込まれる救急需要に的確に対応するため、中央区内の消防署所を再編する中で、平尾出張所の移転整備を行います。

予算 **270,037**千円

救急出動体制の強化(南消防署に救急隊を増隊)



ファイ太くん
(消防局マスコットキャラクター)

人口の増加や高齢化の進展などに伴い増加し続ける救急需要に的確に対応するため、南消防署に救急隊を1隊増隊します。

予算 **64,707**千円

8 安全で快適な生活基盤の整備

交通安全対策

児童や未就学児など、誰もが安心して歩けるよう歩行空間の整備を進めるとともに、全国的な交通事故の状況を踏まえた交差点等の交通安全対策に取り組みます。



歩道整備



車止め設置

予算 **2,381,565**千円

西鉄天神大牟田線の高架化（雑餉隈駅付近）



完成イメージ

西鉄雑餉隈駅付近において、踏切による交通渋滞や事故の解消、鉄道で分断された地域の一体化などを図るため、鉄道の高架化を進めます。（令和4年8月高架切替予定）

予算 1,641,497千円

治水対策の推進

大雨による河川の氾濫を防止し、浸水被害の軽減を図るため、地下河川方式による香椎川の改修に着手するなど、河川改修や雨水流出抑制を目的とした治水施設整備を推進します。

予算 863,732千円

9 良質な住宅・住環境の形成

居住支援の推進

高齢者や子育て世帯など、誰もが安心して快適に暮らせる居住環境づくりに向けた取組みや、分譲マンションの管理の適正化に向けた取組みを進めます。

予算 149,284千円

10 犯罪のない安全で住みよいまちづくり

街頭防犯カメラ設置補助事業

防犯環境に配慮したまちづくりの推進に向け、自治協議会、町内会等を対象に、街頭防犯カメラの設置費用に対する補助を行います。

予算 40,074千円

飲酒運転撲滅対策事業



飲酒運転の撲滅（ゼロ）に向け、地域や事業者が行う飲酒運転撲滅の取組みを促進するとともに、市民や事業者等と連携したキャンペーンを展開します。

飲酒運転撲滅ポスター

予算 3,256千円

11 安全で良質な水の安定供給

水道施設の維持・更新

安全で良質な水道水を安定的に供給するため、浄水場や配水管など水道施設の効率的な改良や更新、耐震化を計画的に進めます。

予算 18,426,462千円

12 日常生活の安全・安心の確保

成年年齢引下げに対応した消費者教育・啓発の推進

令和4年4月の民法改正により新たに成年となる18歳・19歳向けの消費者教育・啓発を強化し、消費者被害の未然防止に取り組みます。

予算 8,174千円

予防接種（小児分）

子宮頸がんワクチンの定期接種の積極的勧奨を再開し、対象者への接種を推進します。また、積極的勧奨の差し控えにより接種機会を逃した方に対し、時限的に、従来の定期接種の対象年齢を超えて接種を行います。

予算 1,230,754千円

4 人と地球にやさしい、持続可能な都市づくり



13 地球温暖化対策の推進と自律分散型エネルギー社会の構築

市有施設の電力の再生可能エネルギー由来電力への切替

庁舎・学校・公民館・上下水道施設など市有施設で使用する電力を再生可能エネルギー由来電力へ切り替えます。

予算 284,697千円

市有施設への太陽光発電設備設置に向けた調査

太陽光発電設備の設置を進めていくため、市有施設の屋根形状や建物構造等、発電設備の設置条件の把握を行います。

予算 13,334千円

カーボンニュートラル資金



商工金融資金

商工金融資金制度において、市内中小企業者のカーボンニュートラルに向けた取組みを支援します。

予算 487,000千円

次世代自動車の普及促進

ガソリン車から電気自動車等への転換を推進するため、車両購入への助成を行うとともに、商業施設等への急速充電設備設置の助成など利用環境整備に取り組みます。

予算 47,447千円

14 循環型社会システムの構築

プラスチック回収モデル事業

プラスチックのリサイクルの推進に向けた課題を検証するため、区役所・市民センター等の資源物回収拠点において、プラスチック製品の回収モデル事業を実施します。

予算 55,804千円

指定袋へのバイオマスプラスチック導入モデル事業

国における「プラスチック資源循環戦略」の基本原則等をふまえ、可燃ごみ用の指定袋の一部にバイオマスプラスチックを導入（配合率25%）するモデル事業を実施します。

予算 19,500千円

15 まちと自然が調和した福岡型のコンパクトな都市づくり

橋本駅前地区における拠点形成関連基盤整備

駅を核とした地域の拠点にふさわしいまちづくりを行うため、民間の土地区画整理事業などにより、都市計画道路等の整備と街区形成を行い、都市機能や交通結節機能の強化を図ります。

予算 842,930千円

跡地のまちづくり

まちづくりの観点から検討が必要な、こども病院などの跡地について、地域や福岡市の魅力向上につながる跡地活用の実現に向けて取り組みます。

予算 20,326千円

16 公共交通を主軸とした総合交通体系の構築

地下鉄七隈線延伸事業



安全対策に万全を期しながら工事を進めるとともに、試運転や各種検査など令和5年3月の開業に向け、着実に取り組みます。

予算 6,016,000千円

生活交通支援事業

バス路線の休廃止に伴い公共交通空白地となる地域の代替交通を確保するとともに、オンデマンド交通の社会実験を実施するなど、持続可能な仕組みづくりに取り組みます。

予算 113,158千円

都市の成長

5 まちの魅力を磨き、さまざまな人をひきつけられるまちづくり



17 観光資源となる魅力の再発見と磨き上げ

博多旧市街プロジェクト



「博多旧市街」エリアにおいて、歴史・文化に配慮した趣のある道路整備や、寺社などで実施しているライトアップなどのイベントの魅力向上、プロモーション強化等に取り組みます。

予算 167,106千円

博物館リニューアル推進事業

大規模改修にあわせ、展示機能や交流拠点機能の向上など、多様な視点を踏まえた博物館リニューアル基本計画を策定します。

予算 43,154千円

6 経済活動が活発で、たくさんの働く場が生まれるまちづくり



18 産学官連携による、知識創造型産業の振興

水素リーダー都市プロジェクト



下水バイオガスによる水素ステーションの機能強化やFCモビリティ導入促進等の取り組みにより水素関連産業の振興を図ります。

下水バイオガス水素ステーション

予算 155,018千円

福岡グリーンイノベーションチャレンジ

公益財団法人九州先端科学技術研究所（ISIT）に新設されたグリーンイノベーション部門と連携し、中小企業等によるカーボンニュートラルに資する製品開発等を支援します。

予算 19,000千円

九大新町における研究開発拠点の形成

西区九大新町の産学連携交流センターにおいて、研究開発型企業等の支援に取り組むとともに、隣接地では「九州大学と連携した研究開発次世代拠点」の形成を進め、新産業・新事業の創出を図ります。



予算 148,371 千円

19 成長分野の企業や 本社機能の立地促進

国際金融機能誘致推進事業

国際金融に特化したワンストップ窓口の運営やフィンテック事業者等への支援を実施します。

※フィンテック…キャッシュレス決済等、ICT 技術を活用した革新的な金融サービス

予算 13,689 千円

外資系金融機関等の誘致推進

福岡市を広く PR するため、海外の外資系金融機関等を対象としたプロモーション等を行い、国際金融機能の集積に繋がります。

予算 24,261 千円

20 地域経済を支える地場中小企業 などの競争力強化

企業間取引デジタル化推進事業

福岡市内の中小企業の労働生産性向上を支援するため、企業間取引のデジタル化をテーマとしたセミナーを開催するほか、企業に対して IT 専門家の派遣を行います。

予算 10,890 千円

商店街にぎわい回復支援事業



商店街が取り組むイベント

新型コロナウイルス感染症の影響により中止していたイベントの再開など、商店街が行う集客力や販売力強化のための取組みを支援します。

予算 13,228 千円

伝統産業連携事業



本市ゆかりの伝統工芸品

博多織や博多人形のほか、博多曲物や博多張子、マルチグラスなどの、本市ゆかりの伝統工芸品について、複数の工芸品事業者や関係者等と連携し、認知度向上や販路拡大等に取り組めます。

予算 6,689 千円

21 農林水産業と その関連ビジネスの振興

アグリDXプロジェクト(スマート農業推進)

生産現場の課題解決に資する AI や IoT などの先端技術を活用したスマート農業技術の実証実験を実施し、農業の生産性の向上や農作業の省力化を図ります。

予算 826 千円

Fukuoka Green Next

地域産材利用促進事業

地域産材の利用促進を図るとともに、木材利用の普及啓発を行うため、市民の目に触れる機会が多い区庁舎等の木質化を推進します。



Fukuoka
Green
NEXT

予算 35,174 千円

ウッドベンチ利活用事業

市内産木材の魅力をもっと PR し、木材利用の促進を図るため、木材の乾燥工程を兼ねた木製ベンチを製作・設置するとともに、乾燥完了した木材を使って玩具等を製作・配布します。

予算 3,862 千円

油山市民の森等リニューアル事業

油山市民の森及び油山牧場の一体的な運営を含めたりリニューアルに向け、民間事業者と事業協定を締結するとともに、インフラ整備や既存施設の改修を行います。

予算 570,873 千円

海の森づくり事業

母藻の投入や種糸の設置等による藻場の再生・拡大を図るとともに、二酸化炭素の吸収を促進します。

予算 10,000 千円

22 就労支援の充実

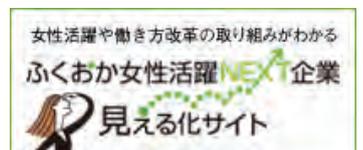
就労相談窓口事業、ミドル世代就職支援事業

各区の就労相談窓口で、寄り添い型の個別相談や職業紹介などを行い、求職者の就労を支援します。あわせて、ミドル世代専用の相談窓口を設けるなど、きめ細かに支援します。

予算 52,411 千円

女性活躍推進事業

企業における女性活躍への取組みの「見える化」の推進や、男性の育児休業の取得促進、女性の起業支援などに取り組めます。



予算 15,180 千円

7 創造的活動が活発で、多様な人材が新しい価値を生み出すまちづくり



23 新たな価値を生み出す創造産業の振興

福岡 e スポーツフェスタ

大規模 e スポーツイベントを開催し、多様な業種のコラボレーション企画や、ビジネスコンテストなどを通じて、新たな成長分野である e スポーツ関連産業の更なる振興を図ります。

予算 40,000 千円

クリエイティブ・エンターテインメント都市づくり推進事業

アジアンパーティにおいて、「The Creators」等を開催し、国内外に向けたブランド化を図るとともに、クリエイティブ関連産業の集積を目指します。

予算 87,345 千円

音楽都市振興事業



福岡音楽都市協議会と連携し、新しいビジネスモデルの構築に向けた取組みや人材育成事業の実施、ストリートピアノ等を通じたまちの賑わい創出に取り組めます。

予算 15,468 千円

8 国際競争力を有し、アジアのモデル都市となるまちづくり



24 高度な都市機能が集積した活力創造拠点づくり

アイランドシティ整備推進

アイランドシティにおいて、国際物流拠点の形成や、海とみどりを活かした快適な居住空間の形成など、先進的モデル都市づくりに取り組めます。

予算 3,571,140 千円

25 成長を牽引する物流・人流のゲートウェイづくり

博多港の機能強化

国際海上コンテナ取扱個数の増加等に対応するため、コンテナターミナルの機能強化に取り組めます。

予算 2,093,566 千円

博多港におけるカーボンニュートラルポート形成に向けた検討

官民一体となって博多港の脱炭素化を進めるため、カーボンニュートラルポート形成計画の検討を行います。

予算 8,993 千円

空港機能強化の促進

福岡空港の滑走路増設の早期完成に向けた取組みを国や県とともに推進します。

予算 1,078,384 千円

福岡高速3号線延伸事業

福岡市南部地域や太宰府方面から福岡空港国内線旅客ターミナルへのアクセス強化等を図るため、福岡高速3号線延伸事業を推進します。
(事業主体：福岡北九州高速道路公社)



福岡高速3号線延伸のイメージ図

予算 621,140 千円

26 アジアの諸都市などへの国際貢献・国際協力の推進

アジア太平洋都市サミット



アジア太平洋地域における都市問題の解決を図るため、国連ハビタット福岡本部と共同で、第13回アジア太平洋都市サミットを7月に福岡市と国内外の都市をオンラインでつなぎ開催します。

第13回都市サミット特別版のオープニングセッション

予算 36,386 千円

新型コロナウイルス感染症対応経費 総額 **2,193 億円**

★新規 ☆拡充

○ 検査・医療提供体制の充実 約 127 億円

- ・新型コロナウイルスワクチン接種（70.1 億円）
- ・医療機関への特別給付金（1.4 億円）
- ・新型コロナウイルス感染者等支援体制確保事業（0.3 億円）
- ・濃厚接触者等の検査事業（5.9 億円）
- ・医療・介護施設等従事者検査事業（9.4 億円）
- ・感染流行地域関係者等への検査事業（0.2 億円）
- ・出張 PCR 検査助成事業（0.2 億円）
- ・妊婦への分娩前 PCR 検査（1.0 億円）
- ・新型コロナウイルス入院医療・保険適用検査費公費負担（23.7 億円）
- ・健康観察等フォローアップ事業（2.7 億円）
- ・相談体制等強化事業（6.1 億円） など

○ 事業者の支援 約 2,008 億円

- ・商工金融資金預託金（1,949 億円）
- ・市内事業者対象オンライン採用活動支援事業（0.1 億円）
- ・中小企業等の DX 促進モデル事業（0.6 億円）
- ・商店街プレミアム付商品券事業（1.2 億円）
- ☆商店街にぎわい回復支援事業（0.1 億円）
- ・福岡型ワーケーション推進事業（0.2 億円）
- ☆修学旅行・バスツアー等による周遊観光の推進（0.8 億円）
- ☆ポストコロナ MICE 支援事業（0.8 億円）
- ☆保育所等整備費助成（2.2 億円）
- ・保育所等への感染症予防対策支援事業（2.8 億円）
- ・アグリ DX プロジェクト（0.1 億円） など

○ 市民生活の支援 約 37 億円

- ★乳幼児健診情報のデジタル化（0.2 億円）
- ☆ SNS を活用した教育相談（0.2 億円）
- ・オンライン学習の支援（1.6 億円）
- ☆マイナンバーカードの普及促進（1.7 億円）
- ・母子保健オンライン相談等事業（0.1 億円）
- ★聴覚障がいのある児童生徒への補助装置の導入（0.1 億円）
- ・スクールバス運行経費（1.2 億円）
- ・引越し手続きのオンラインサービス等事業（0.9 億円）
- ☆子どもプラザのオンライン環境整備（0.1 億円）
- ・GIGA スクールの推進（12.1 億円）
- ・スクールカウンセラー等活用事業（4.8 億円）
- ☆宅配ボックスの導入助成（2.6 億円） など

○ 新型コロナウイルス感染症対策予備費 20 億円

SDGsとは、「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略で、「誰一人取り残さない持続可能な社会」を実現するために、2015年の国連サミットで採択された、2030年を期限とする17の国際目標です。

福岡市では、多くの市民の皆様とともに策定した「福岡市総合計画」に基づき、経済的な成長と、安全・安心で質の高い暮らしのバランスが取れた、コンパクトで持続可能な都市づくりを進めることにより、SDGsの達成に取り組んでいます。

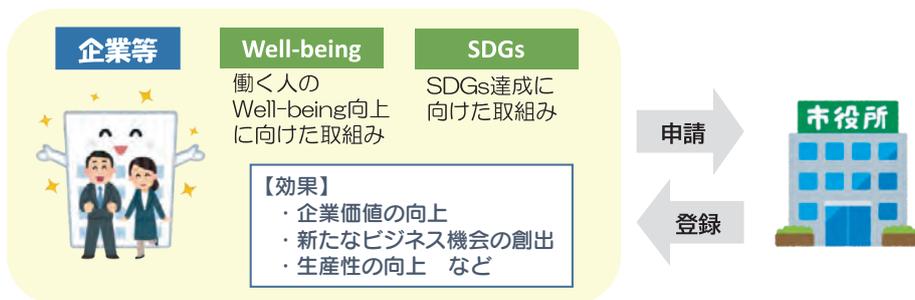
Well-being&SDGs 登録制度

福岡市における「暮らしの満足度の向上」と「持続可能な環境・社会・経済」の実現を目指して、「働く人」のWell-being向上とSDGsの達成に向けて取り組む事業者を応援するための登録制度を創設し、市ホームページで紹介するなど事業者の取組みを促進します。

予算 **5,000** 千円



専用ロゴマーク（登録区分：マスター）



増えているのは、選ばれているから。

- 人口増加数・増加率 -

人口

1,612,392人

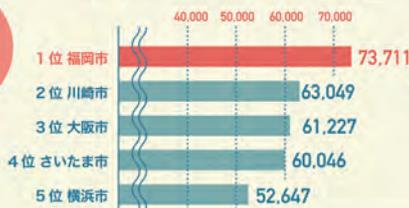
【令和2年10月1日】

資料：『令和2年国勢調査』（人口等基本集計）より福岡市作成
※人口は、国勢調査の基準日である令和2年10月1日現在のもの



人口増加数が多い都市

(H27年10月～令和2年10月の増加数)



資料 国勢調査(令和2年10月1日)

人口増加率が高い都市

(H27年10月～令和2年10月の増加率)



資料 国勢調査(令和2年10月1日)

若者(10代・20代)割合は政令市中NO.1

22.08%

資料：『令和2年国勢調査』（人口等基本集計）より福岡市作成
※10～29歳の人口及び割合の算出については、年齢不詳を除いたもの

若者(10代・20代)の割合が高い都市

